

新型コロナウイルス感染症対策に充分配慮して開催しています。

◎ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座):13時半~15時

原則毎月28日(28日が土・日に当たる場合は直前の金曜日)に、毎回テーマを設けて、皆で座談する形式で開催しています。

・1/28(木)「鬼もお浄土へ往くのか?」

・2/26(金) 仏具のお磨き

・3/26(金)「1番大事なことは?」

◎ 死別の分かちあいの集い:13時~15時

・夫を亡くした方:毎月第1土曜日(1/2、2/6、3/6、4/3、5/1)

・自死遺族の方:毎月最終土曜日(1/30、2/27、3/27、4/26)

当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

遠方の方は、お振込もどうぞご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、次のように入力してください。

【店名】五ーハ(読み ゴイチハチ)

【店番】518(普通預金)5577060

◇ 報告・連絡・“僧”談

2018年から「お寺の掲示板大賞」というコンテストが開催されています。全国のお寺の掲示板の写真がインターネット(ツイッターやインスタグラム)で応募され、仏教ゆかりの各識者が選考するというものです。幸い超覚寺の掲示板も3年連続で選ばれて、2020年は2点入賞しました。それまでは毎週張り替えていましたが、コロナ禍が拡がって法要・法座が減った4月からは、その穴埋めをしようと毎日更新しています。ハ丁堀は人通りが多いですが、それ以上にインターネット上で観る方が増えています。どうぞ「井超覚寺」で検索し、ご覧ください。

発行人:超覚寺住職 和田隆彦(釈隆恩) (*ーー)人!~合掌

⑧

2020年12月冬 超覚寺報 第45号

【ハ丁堀だより】



広島カーフ・2021年キャッチャーズ

浄土真宗(真宗大谷派・東本願寺)



林鶯山
憶西院 超覚寺

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI

[since 仏暦2162, 西暦1619, 元和5]

〒730-0013 広島県広島市中区ハ丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wadda@namuamidobutsu.com

HP : <http://www.namuamidobutsu.com>

<http://mytera.jp/tera/48chokakujji>

①

超覚寺冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますが、
コロナウイルス対策をし、3密に充分に配慮しますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ 2021年修正会法要

1月1日(金・祝) 6時～、8時～、10時～、12時～、

一年の計は元旦にあり。「今年もお念仏の道を歩ませていただきます」と
阿弥陀さまにご挨拶申し上げましょう。住職が約10分ほどの勤行・法話
を勤めます。これらの時間帯以外も元日は本堂を開放しておりますので、
新年のお墓参りの際に、どうぞ本堂までお参りください。

『門松や 冥土の旅の 一里塚 めてたくもあり めてたくもなし(一休宗純)』

◎ 2021年 春季彼岸会法要

3月21日(日) 13時～ 勤行:住職

13時30分～(休憩)～15時

高座説教:祖父江佳乃師(名古屋市有隣寺住職)

2021年も祖父江佳乃師にご出講いただきます。2020年はコロナ禍で
中止しましたが、今後は広島市がロックアウトしない限り開催します!

☆ お仏壇(お内仏)考

右記の『額装御本尊』を1年前ご紹介しましたが、ご入用
される方が何軒もありました。生活様式や間取りの事情で
昔ながらのお仏壇を諦めていた方や、施設に引っ越すので
こちらに切り替えた方もいらっしゃいます。また「こちらなら」
と新たに設ける方もいらっしゃいます。関心のある方は、
どうぞお寺までお気軽にお問い合わせください。



③ 『超覚寺本堂での御葬式』

2020年は、コロナ禍の
影響もあってか、お寺の
本堂での御葬式が増え
ました。費用が抑えられ
るのもありますが、県外
の親戚も呼べない状況
下で極少人数の家族葬
にならざるを得ないなら、
融通の利くお寺が安心
だろうと思います。また、
葬儀会館や自宅よりは
3密を避けられると思っ
ます。

1日一組で、時間制限
はありませんので、実際
お通夜の後ずっと居る方
もいらっしゃいます。

終活等で自分のお葬式

をイメージしている方は少なくないですが、実際にお葬式を出す側は、
何の準備もしていない状態で始めるのですから、訳が分からないまま
終わってしまったということが少なくありません。だからこそ、随時変更
しやすいお寺での御葬式をお勧めします。



◇ 2021年の広島カープ団体観戦

コロナ禍で、グッズスタジアムのチケット販売は全く見通しが立ちま
せんか、販売が決まれば、例年通りに団体予約しようと思います。個
別に希望するチケットがある方は、事前にお申し出くだされば一緒に
申し込みます。どうかコロナ禍が終息しますように。

◇ “寺”後報告

① 11/1 『第3回 ハ丁堀落語会』

例年、納涼祭として開催していましたが、今年はコロナ禍で開催が危ぶまれました。

折り障子を開けて、高座を御内陣に上げ、観客との距離を5m取り、入場者数も20名



に限定することで演者さんの許可を頂きました。

古典落語の「真田小僧」「親子酒(広島弁バージョン)」「目黒のサンマ」も、中島尚樹さん&井上恵津子さん夫妻や広テシ森アナウンサーが演じると、聴き心地良く分かり易くて、私にはぴたりでした。地元の代議士を揶揄するなどのアドリブも効かせたりして本当に面白かったです。

② 11/7 『超覚寺報恩講』

今回も愛知県安城市本證寺住職の小山興圓師に、親鸞聖人御絵伝二幅目をお解きいただきました。掛け軸やプロジェクターを使用しての法話は、小山師の話術と相まって本当に面白く分かりやすかったです。

コロナ対策で御斎と午後の部を取り止め、また昨日からの雨天で出足を心配しておりましたが、約20名がお参りくださいました。

秋季彼岸会や落語会もそうでしたが、このような場を必要としてくださる方はやはりいらっしゃるのだと改めて確信しました。お参りくださった方々には、御供の三色餅と特製お赤飯をお持ち帰りいただきました。



◎ 2021(令和3)年の法要日程予定

- ・1月1日(金・祝) 修正会 6時・8時・10時・12時
- ・3月21日(日) 春季彼岸会(+高座説教) 13時～
- ・8月6日(金)・9日(月) 原爆殉難者追弔会
- ・8月14～16日(土日月) 盂蘭盆会 10時
- ・9月23日(木) 秋季彼岸会 13時～
- ・11月6日(土) 報恩講(+御絵伝) 10時～
- ・11月某日 第4回 ハ丁堀落語会

◇ 2021(令和3)年の御法事をご確認ください。

- ・2020(令和2)年: 1周忌 ・2019(令和元)年: 3回忌
 - ・2015(平成27)年: 7回忌 ・2009(平成21)年: 13回忌
 - ・2005(平成17)年: 17回忌 ・1997(平成9)年: 25回忌
 - ・1989(平成元)年: 33回忌 ・1972(昭和47)年: 50回忌
- お勤めはお寺でも御自宅でも大丈夫です。希望日時をお早めに御連絡ください。念のため、境内墓地通路脇の案内板にも該当者名を掲示してあります。

◇ 2021年に慶事のある方へ

成人式を迎える方、**結婚**される方、**出産**される方へ、東本願寺からのお祝いとして、記念品(お念珠)を授与いたします。この慶事を機縁として、お仏壇や本堂の仏様へのお参りや、ご先祖さまへのお墓参りか報恩謝徳であること、お念珠を把持することの大切さ等をお伝えしたいと思います。どうぞ、いつでもお申し出ください。

☆【狂人のオリンピック】（瓜生崇師の法話を加筆転載）

「人生は狂人の主催に成ったオлимпピック大会に似たものである。」

これは芥川龍之介の『侏儒の言葉』というエッセイ集に載っている言葉です。芥川龍之介は、私が生きるということは、狂った人のオリンピックに似ているということです。

なぜ人生はオリンピックと言えるのか？ 私が生まれた時が競技がスタートした時と言えるでしょう。そして始まったら一生懸命走るわけです。人間は一生懸命生きなさいとか、頑張って生きなさいとか、精一杯生きなさいとか、輝いて生きなさいとか、そういうことを言われながら走り続けるわけです。とにかくこの人生というものを精一杯輝いて生きなさいと言われ続けるわけです。頑張っている人、一生懸命な人が評価されます。そうやって懸命に走るんだけれど、その中で、周りの人と自分の立ち位置を常に確認していきます。「あの人は僕の前を走っている」とか、「もうちょっとで抜かせる」とか、「私はこうだ」とか、「あれはこうだ」とか。「あのお寺は報恩講でお参りがたくさんあるけど、ウチはまだ全然だ」とか、「でもお彼岸ではウチはたくさんお参りがある」とか、そんな風にお寺同士でも常に他と関わりながら、自分の位置を確認しながら競争して走っていますよね。そういう意味で、人生はオリンピックに似たものとは言えるんです。

ところがオリンピックに似たものと言っても、違うところがあると。それは、『なぜ私がこのオリンピックに参加しているのか誰も知らない』ということなんです。人生というオリンピックにポイントと放り込まれて、いきなり走れと言われるんです。どこに向かって走ればいいのか、何のためにそのオリンピックに参加するのか、そんなことも何一つも知らされず、ただそのオリンピックにポイントと放り込まれて、「お前、頑張って走れ走れ走れ！」と言われ続けて走っているわけです。走り方も知らないのに。これが芥川龍之介が「狂人」と言う一つの根拠です。

そしてもう一つの違いは、このオリンピックには『ゴールが無い』ということです。どこまで走っても終わらないんです。親鸞聖人は「生死の苦海ほとりなし」と仰っていますけど、この苦痛をどれだけ走っても、たどり着いたとか、これがゴールだとか、そういう実感も思いもどこにもありません。ただ競争して、最後に力尽きて死んでいくだけの人生を皮肉っているのです。

☆【死刑制度について】（同朋新聞2020年1月号より加筆転載）

「私は執行する側の人間だったのだ。彼の手を振り解いた時、そのことを痛いほど感じた。」 拘置所の教誨師が刑場に向かう直前の死刑囚と握手した時のことだった。その死刑囚はなかなか握った手を離さなかったの、振り解くしかなかったという。我々がこの教誨師のような実感を持つのは難しいと思う。しかし、構造としては我々も同じ「執行する側の人間」なのだ。そのことをどれだけ深く受けとめているだろうか。

取り返しのつかない罪を犯した人間に対して、自分自身はどのように向き合うべきか、釈尊が仏弟子アングリマラに対して取られた態度を見習いたい。師匠から騙されたとはいえ多くの人の命を奪ってしまったアングリマラは、釈尊に出会うことによって自分の犯した罪と向き合い、深く悔い改めて釈尊の弟子となった。しかし、そのアングリマラを処刑するため、国王が軍隊を連れて釈尊の僧伽にやって来た時、釈尊はアングリマラを国王に差し出すようなことは決してされなかった。アングリマラが釈尊と共に布施を受けに町を廻ると、石を投げられたりして世間の非難を浴びた。それに耐え忍びながら、仏弟子としてその生涯を終えたという。

死刑制度のある国の国民であるということは、「執行する側の人間」として生きているということだ。しかも、執行する刑務官や執行に立ち会う教誨師ほどの痛みも感じずに生きている。私は、アングリマラに対して取られた釈尊の態度から、「日本も死刑廃止に向けて歩まなくていいのか」と問われているように思う。実際、日本弁護士連合会は、死刑の執行停止に加え死刑のない社会が望ましいことを見据えて、2011年から死刑廃止について全社会的議論を呼びかける活動を開始している。

片や仏教界では、死刑反対の姿勢を明確にしているのは真宗大谷派（東本願寺）だけで、他の宗派の多くが「死刑廃止は“慎重に議論すべし”」の考えが主流で日和っているように見える。同行として情けなく感じる。仏教の不殺生の戒（殺さない・殺させない・殺されない）は、死刑制度と相容れないし、犯罪は社会の共同責任という側面もある。世界的な死刑廃止の潮流も無視できない。日本の死刑制度存続議論に一石を投げられるのを望んでいる。